



### 第6回 全国ユース環境活動発表大会 全国大会

#### 〈実施概要〉

**日程** 令和3年1月22日（金）～1月29日（金）（発表動画 Web閲覧期間）

**主催** 全国ユース環境活動発表大会 実行委員会  
（環境省・独立行政法人環境再生保全機構・国連大学サステナビリティ高等研究所）

**後援** 読売新聞社

**協力** 環境省地方環境パートナーシップオフィス（EPO）／地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）／ESD 活動支援センター

**協賛** キリンホールディングス株式会社／協栄産業株式会社／SGホールディングス株式会社／株式会社タニタ



## 受賞校のみなさん、おめでとうございます！

全国8地方の地方大会から選出された16高校（団体）が全国大会に出場しました。

今年は、高校生が発表動画を制作して応募。Web上で動画を発表・閲覧し、審査を行いました。

新型コロナウイルスの影響で環境活動、SDGs活動が制限される中でも、全国の高校生が熱心に活動をしてきました。いずれの活動内容も発表もすばらしく、審査を経て環境大臣賞をはじめすべての出場高校に賞が贈られました。表彰された16高校の活動をご紹介します。

### 環境大臣賞

#### 宮城県農業高等学校 科学部チームsmiles

サクラの新品種開発で桜の緑被率を上げる ～被災農業高校が立ち向かう震災10年目の挑戦！～

科学部で代々、東日本大震災からの復興のため津波跡の校庭に残った桜を用い、増殖と植栽を繰り返し、間もなく千本となりました。

人を魅了される桜とより多くの地域住民を繋ぐことで、結果、緑被率も上がると考え品種開発も行ってきました。候補の桜について調べたところ、3.5%濃度の塩水を使った葉の塩害実験では桜13種類の中で2番目に低く塩害が非常に起き難いこと、ほかに二酸化炭素を多く取り込む性質も見られ、今後街路樹や沿岸部の緑化、さらには森林の一部として貢献できると考えられました。そこで地区の名前を1字貰って「玉夢桜（タマユメザクラ）」と命名。地区と共同で申請したところ、2020年8月、公益財団法人日本花の会から新品種の認定を受けました。

私達は現在、昨年の台風19号の被災地などで、オンリーワンの桜、奇跡の桜、そして新しい植栽法を紹介しながら、桜でなければできないCO<sub>2</sub>吸収促進を提言しています。



### 環境再生保全機構 理事長賞

#### 長崎県立諫早農業高等学校 食品科学部

規格外みかんが生み出す新たな地域興しと廃棄物の再利用

長崎県は温州みかんの生産量53,500トンで全国第5位を誇る。しかし、農家の悩みとしてブランド力が低い、規格外品が多い（約20%）などがあげられる。そこで、新しい長崎ブランド品の開発を目的とした。また、加工の際に生じる廃棄物の再利用を行った。

本活動は地元の伝統菓子諫早おこし、長崎みかんのPRを行うため、両者をコラボさせ「みかんおこし」の開発を行い、令和元年5月に商品化を達成した。そして、令和2年2月、長崎県特産品新作展において「長崎手みやげ大賞」を受賞し、全国へPRされている。

また、加工の際に生じる果皮などは、廃棄物として処分され、焼却する際に生じる二酸化炭素は環境に悪影響を与えている。検証の結果、廃棄物を用いた子実体の菌床栽培に利用できることを突き止め、令和2年3月、発明の名称「子実体栽培方法」で特許を取得した。

この技術は地元の栽培農家で実証実験に成功し、今後廃棄物削減が期待される。



### 国連大学サステナビリティ高等研究所 所長賞

#### 富山県立滑川高等学校 海洋クラブ

持続可能な社会を目指した未利用資源イワシの活用

私たちが住む富山県滑川市は春の風物詩としてホタルイカが有名な地域である。しかし、私たちがホタルイカの定置網実習をした2年前はホタルイカが不漁で、イワシが多く漁獲されていた。イワシは全国的に安値でしか売れない。ここ滑川の海でも例外ではなかった。そこで、私たちは今までホタルイカのようにスポットライトを浴びる存在ではなかったイワシをアップデートさせる取り組みを始めた。また、この活動を発展させ、SDGsの目標が達成できるのではないかと考えた。イワシは缶詰として商品となった。缶詰としては使えない残渣は段ボールコンポストにして肥料にし、植林活動で山に撒いた。山が豊かになることで海が豊かになり、魚が行きつけられる持続可能な漁業を目指した。また、イワシは漁師から無料で提供していただいたため、缶詰の原価が安く抑えられた。そのため、売り上げの一部をユニセフを通して教材を寄付することを目指している。

